

5月1日 第95回メーデー中央集会

働くものの団結で生活と権利を守り、 平和と民主主義、中立の日本をめざそう

メーデースローガン

大幅賃上げ実現！ あらゆる解雇を許すな！ 社会保障の充実を！ ジェンダー平等！ 均等待遇実現！ なくせ貧困・格差・差別！ 8時間働けば暮らせる社会を！ 震災復興！ 福島原発事故を忘れない！ 原発ゼロ社会の実現を！ 核兵器廃絶！ 反戦平和！ 9条改憲反対！ 大軍拡・増税反対！ 辺野古新基地建設阻止！ 岸田政権は退陣を！

第95回メーデーの中央集会が、5月1日、代々木公園で開かれました。あいにくの雨の中、1万2000人が参加し、裏金、金権腐敗政治、「賃金が上がらない国」にした自民党政治を終わらせ、大幅賃上げで労働者の生活改善、労働法制改悪反対、軍拡・戦争ノー、改憲反対をアピールしました。



第95回メーデー中央集会 12000人の参加

メーデー集会の冒頭、小畠雅子全労連議長は、主催者挨拶で次のように述べました。

★小畠議長の挨拶

104年目のメーデーは、24国民春闘の高揚の中で迎えた。すべての労働者の賃上げを求め、ストライキを構えて粘り強く闘い続ける全国の職場・地域の仲間に心からの敬意を表する。

中央メーデーに当たって、1つ目は、4ヶ月になる能登半島地震の復旧・復興を求める課題について、災害当初から全労連を中心に支援をしている。被災者からは、復旧が進まないこと、当面の生活保障が必要とされており、課題が山積みである。石川県は創造的復興プランを掲げているが、すべての被災者に寄り添った復興を強く求める。

二つ目は、政府財界が一体となって進める労働法制の改悪について、とりわけ、労働基準法の改悪。厚労省の報告は、労働条件について最低基準に満たない事でも労使で合意すれば適用除外にする仕組みを作るものである。これは経団連が考える労使自治を軸とした労働法制の改悪と同じものである。労働者保護の要である労働基準法をなし崩しにするもので、改悪させてはならない。

3つ目は、岸田政権の戦争国家づくりについて、憲法無視で行われていることについて、強く反対していくことが重要である。安保法制、安保3文書の閣議決定など、歴代政権の憲法破壊が進められてきた。憲法に基づく平和国家を崩壊させ、軍事大国にしている。先ごろの日米共同声明では、自衛隊の指揮権をアメリカの下に、日本の主権までアメリカに差し出すものである。憲法9条を投げ捨て、新たな軍事的緊張をもたらし、日米一体で戦争するものである。戦争への道を断じて許してはならない。労働者・国民のための政治への転換を迫っていこう。イスラエルは、ガザへの攻撃を今すぐやめろ、停戦を。ロシア軍のウクライナからの即時撤退を。世界の労働者に連帯する。第95回メーデー万歳。

日本共産党の田村智子委員長が次のように、連帯挨拶しました。

★田村智子日本共産党委員長の連帯挨拶

4月28日の衆議院補欠選挙は、自民党への怒りがはっきりと示された。暮らしや経済を何とかしてほしいと国民は思っている、そういう情勢である。その希望を求めて闘うのが労働組合である。全労連、国民春闘共闘は、ストライキを構えて物価高騰を上回る大幅賃上げをと、27年ぶりの高い水準の賃上げを勝ち取っている。要求額とは開きがあるが、たたかってこそ、賃上げ要求を実現できる。日本にストライキの復権をもたらしている。心から敬意を表する。

自ら声を上げていくこと、みんなで要求をしていく労働組合が、世界では今、息を吹き返している。アメリカでもストライキを決行し、要求を勝ち取っている。資本から独立して闘っている全労連運動に敬意を表する。政治を変える闘いも大幅賃上げと同様に重要。岸田首相は、連合メーデーで挨拶し、賃金が上がらないのは、労働者の心持のせいだという。人件費を減らし、非正規を増やし、中小企業への賃上げ支援を行わず、社会保障予算を削って、インボイス増税まで強行した。日本を賃金の上がらない国にした政治の責任をどう考えているのか。一方で、大企業の内部留保はGDPに匹敵するまでに膨張している。自民党も問題視している。内部留保の一部に課税し、中小企業の賃上げ支援に回し、最低賃金1500円を直ちに実施すべきである。差別をなくし、同一労働同一賃金を実現しよう。政治を変えて大幅賃上げを勝ち取ろう。

最後に憲法破壊の戦争国家づくりを共に止めよう。教え子を再び戦争に送らない。二度と赤紙を配らない。白衣を戦場の血で汚さない。憲法9条を守れば、労働組合運動の原点である。集団的自衛権の行使容認、敵基地攻撃能力の保有、武器輸出解禁など9条のもとでできないとされてきたことが、次々と崩されてきている。日本が進めている大軍拡ではなく、憲法9条による粘り強い外交で平和を作ることである。自民党政治を終わらせる、裏金事件への怒りを、その大運動を巻き起こそう。第95回メーデー万歳。



千代田区実行委員会の参加者

また、東京大学の本田由紀教授は、「物価高を上回る賃上げはできていない、能登半島地震の復旧・復興が進まないことに怒りを持とう」と訴え、労働者を激励しました。

日比谷メーデーから、今年も連帯の挨拶がありました。

能登半島地震被災地からのメッセージは、「地震から4ヶ月が過ぎたが、未だに多くの人が避難生活を送っている。断水も続き、がれきや被災建物の撤去、道路の復旧など進んでいない。県と国は、創造的復興を掲げているが、被災者の声に寄り添ったものとなるよう求めている。地域の基盤となっていた農林水産業を復活させることが、復興の要である。そして、憲法で

保障された健康で文化的な生活を営む権利に基づき、政府の手厚い支援が必要である」と訴えました。

集会後、3コースでデモ行進を行いました。千代田区実行委員会は、千代田区職労の組合員を中心に、千代田区労協の旗のもと、恵比寿コースのデモ行進を行いました。

武力で平和はつくれない！とりもどそう 憲法いかす政治を 2024 憲法大集会

5月3日は憲法制定から77年目となる日でした。今年も有明防災公園で、快晴のもと、憲法集会が開かれました。参加者は、昨年より多く、3万2000人にもなりました。

開会にあたって、総がかり行動実行委員会の小田川さんは、主催者挨拶で以下のように訴えました。

この集会は、「戦争させない、9条を壊すな」の一致点で結集する諸団体の呼びかけで開催する10回目の憲法集会です。戦争法は強行され、敵基地攻撃能力の保有、大軍拡による戦争準備、武器輸出も解禁されました。日米首脳会談では、自衛隊を米軍の指揮統制化に置くことで合意しました。日米が世界中の紛争に関与する体制を約束しています。日本は、戦争する国に大きく進んでいます。明文改憲の論議も強まり、ここで止めることが迫られています。今日の集会では、「戦争させない、9条を壊すな」の決意を新たにすることです。世界では、戦争が起きて国際秩序が揺らいでいます。今こそ、「武器で平和は作れない」を広げましょう。アメリカとの軍事一体化路線の岸田政権に対し、憲法を守る運動を大きく広げましょう。衆議院の3補選で自民党政治に怒りが示されました。憲法を生かす政治、野党は共闘で、自民党政治を終わらせるために力を合わせようではありませんか。



快晴の下、3万2000人が集まった憲法集会

弁護士の伊藤真さんは、以下のスピーチを行いました。

憲法が大事とこれだけ多くの人が集まることは素晴らしい。時代に合わせて変えていかなければならぬこと、変えてはならないことがある。変えてはならないものの一つに憲法がある。憲法に自衛隊を明記する改憲案は実施させていない。自衛隊を海外で戦争させるような改憲をさせてはならない。私たち国民が求めているのは、平和で人間らしく生きることである。憲法を生かす政治を取り戻すことが必要。変えなければならないものには、憲法改正の手続きがある。今の法律は、お金を使って、マスコミを使って改憲宣伝をやりたい放題できる。アメリカが介入してくることも許してしまう。この憲法改正の手続きは、公平、公正にできるように変える必要がある。戦前は、軍国主義をつき進んできた。戦後、それを断ち切って、軍備を持たない、戦争しないと誓う日本国憲法を作った。その新しい憲法のもとで77年間戦争しないでこれた。憲法9条のおかげである。

ところが、今、憲法9条がありながら、戦争できる国になっている。アメリカと一緒に戦争する体制が取られている。まだ、憲法は変えられていない。憲法の力を持って、改憲に反対していこう。政治を変えるには選挙が重要。日本の不公平な選挙制度を人口比例制に変えていく必要がある。憲法を生かす政治を取り戻そう、77年前の戦争する国に戻させてはならない、武力で平和は作れない。一緒にがんばりましょう。



千代田区労協の旗の下で

新外交イニシアチブ代表の弁護士の猿田佐世さんは、以下のスピーチを行いました。

これだけの人を前にするのは素晴らしい。岸田首相は、日米首脳会談で軍事力を増強したこと、「日本はアメリカのそばに常にいる、だから自信を持って頑張ってください」とアピールし、アメリカと一緒に戦争しますよと約束してきた。残念ながら、日本は、平和国家ではなくなった。軍事大国である。軍拡の理

由では、抑止力の強化が言われる。日本が軍事力を強化すれば、他の国が恐れて侵略してこないというもの。だから、日本は、安全なんだという。

このことは本当なのか。どれだけ、軍事力を高めても、ちょっとした誤解で戦争になってしまうことがある。第1次世界大戦がまさに、たった1発の銃弾から世界戦争になったことの教訓がある。外交により、緊張を緩和することが何より必要であると思う。外交で何をやるのか。日米韓で同盟強化して、中国に対抗していくこうとしている。その中で、アメリカ政府の外交がここまでやるのかということを体験した。外交は、首脳会談や大臣会談をすることだけではない。様々な分野での本気の外交をやっている。顔の見える外交であり、それが緊張緩和につながることではないか。来年、ここにまた来てもらいたい。そして、20代から30代の人を連れて参加してほしい。素晴らしい憲法を守り、平和国家であり続ける日本にしよう。

5. 3憲法集会スローガン

私たちは

- ・改憲発議を許さず、憲法をいかし、平和・いのち・くらし・人権を守ります。
- ・パレスチナ即時停戦とウクライナからの撤退、憲法9条をいかした平和外交を求めます。
- ・敵基地攻撃能力の保有と南西諸島へのミサイル基地配備の撤回を求めます。
- ・平和主義をつらぬき、武器輸出の解禁撤回を求めます。
- ・沖縄の民意と地方自治を踏みにじる辺野古基地の代執行と建設中止を求めます。
- ・原発推進政策の撤回を求め、再生可能エネルギーへの転換を求めます。
- ・ジェンダー平等、個人の尊厳を大切にする社会をめざします。

これら実現のため共同の輪をひろげ、金権腐敗、憲法無視の自民党政治を終わらせ、安心してくらせる社会をめざします。

参加した国会議員は、立憲民主党の逢坂代表代行、日本共産党の田村委員長、れいわ新選組の柳淵共同代表、社民党の福島党首で、それぞれ連帯挨拶をしました。また、沖縄の風がメッセージを寄せました。

会場では、プラカードを掲げて、戦争反対、守ろういのち、憲法9条改憲反対、武力で平和は作れないなどと参加者全員で大きな声でコールをしました。

集会後、二つのコースでデモを行いました。私たちは、東京地評と共に、お台場コースで、モノレールの青海駅を越したところまでの2キロをコールをしながら歩きました。

(千代田区労協事務局長 小林秀治)

※皆さんからの投稿、感想・ご意見などお待ちしています。

*千代田区労協通信バックナンバー/http://www.chyda-kr.org/kuroukyou_news2023.htm

党内の処分ではすまされない まだまだ告発を続ける 企業・団体献金と政治資金パーティーの禁止を！！

神戸学院大学教授 上脇 博之



自民党派閥の各政治団体が政治資金パーティー収入総額を収支報告書に過少に記載して裏金をつくり、議員側に還流させて裏金支出を行なわせていたのは、20数年前からあったとみられます。本来は過去にさかのぼって調査した上で説明責任を果たすべきなのに、直近5年間の不記載だけの調査に終わりました。自民党は裏金づくりの真相・全容を解明する気がないので、徹底して調査することもしなかったのです。それゆえ党内の処分も中途半端なもので、不記載額が500万円を下回る議員は処分しませんでした。過去にさかのぼれば不記載額が増えます。この事件は、みんなで何億円もの裏金づくりしたのですから、金額の線引きには合理性がありません。

裏金のシステムを始めた疑いがある森喜朗元首相を国会に招致せず、真相・全容解明は不十分です。岸田文雄首相や茂木敏充幹事長、二階俊博元幹事長も処分の対象から外しました。岸田派や茂木派、二階派も含めて各派閥で裏金が組織的につくられていたのですから、会長をはじめ関与した議員は全て処分すべきです。岸田首相は「厳しく対応する」と言いながら「離党勧告」や「党員資格停止」にとどまり、議員辞職をさせていません。主権者への裏切りという反省はなく、不記載・裏金事件を甘く見ていました。裏金をつくることは議会制民主主義にも反する行為で、これまでの選挙での各当選の正当性が疑われます。党内の処分で終わりにすることは許されません。20万円を超えるパーティー収入明細の不記載の刑事告発は22年11月～今年1月までを行い、不起訴にされました。裏金事件としては、具体的金額が判明した今年1月から、やっと、池田佳隆議員側のキックバック、茂木派と岸田派の裏金プール、二階派の裏金プールとキックバックを、それぞれ刑事告発しました。3月からは安倍派の萩生田光一、世耕弘成の各議員らを刑事告発しました。

検察の捜査を終結させる気はありませんので、今後も安倍派とその裏金議員らの刑事告発を続けます。私の裏金告発はまだ始まったばかりなのです。派閥のパーティーで裏金づくりができたのは、収支報告制度がない企業や任意団体の購入と金額を国民も記者も確認できないからです。自民党議員が簡単に裏金をつくれないよう政治資金規正法を抜本的に改正し、企業・団体献金と政治資金パーティーを全面禁止しなければなりません。また、政治家個人は選挙の時以外は政治資金の収支報告制度がないのに現行法は政党が議員個人に寄付をすることを例外的に認められているので、使途不明金＝裏金が合法的に許されているので、これも禁止すべきです。自民党は金権体質を変える気がありませんが、世論の力で法律改正を実現させましょう。

(憲法ニュース 666 号からの転載)

根深い裏金事件・金権腐敗政治に怒り

政治を変える！学習決起集会

★時: 6月4日(火)18時半～

★場所: エデュカス東京地下会議室 (二番町 12-1 ☎ 5210-3511)

講演: 「労働組合の要求と金権腐敗政治」

講師: 五十嵐 仁 (法政大学名誉教授)

労働組合の要求を実現するには、政治に反映させることが重要です。しかしながら、今は、金権腐敗政治がはびこり、大企業・富裕層優遇、軍事優先、アメリカいなりの政治で、庶民の生活は無視され、暮らしが悪化しています。暮らしを改善するには、政治を変える行動が求められます。暮らしに関わる国政や都政の問題点について、学習し考える機会です。皆さんのご参加をお待ちしています。

ZOOM配信あり chiyodakurokyo@gmail.com に連絡を

主催: 千代田区春闌共闘委員会

単組から参加願います。

学習して、たたかいを進めましょう。